

# 広島交響楽団 ディスカバリー・シリーズ

Hiroshima Symphony Orchestra Discovery Series

## ベートーヴェン生誕250周年交響曲シリーズ Hosokawa × Beethoven 2

広島交響楽団初のコンポーザー・イン・レジデンスに就任した細川俊夫作品と共に

東京オリンピック・パラリンピックが開催される2020年は「被爆75年」「ベートーヴェン生誕250年」が交差する。広島にとってかけがえのない二人の作曲家の出会いを下野・広響が2年間かけてプロデュースする。

**2019.10.4 [金] 18:45開演 (17:45開場) JMSアステールプラザ大ホール**

Fri October 4, 2019 Start 18:45 (Open 17:45) JMS ASTER PLAZA

### program

ベートーヴェン: 「レオノーレ」序曲第2番 *Beethoven: Leonore Overture No.2 Op.72a*

細川俊夫: 月夜の蓮 - モーツァルトへのオマージュ ピアノとオーケストラのための  
*Toshio Hosokawa: Lotus under the Moonlight - Hommage à Mozart - for piano and orchestra*

ベートーヴェン: 交響曲第2番ニ長調 *Beethoven: Symphony No.2 in D major Op.36*

Concertmistress 蔵川 瑠美 *Rumi Kurakawa*

■ チケット料金 / S席:5,200円 A席:4,200円 B席:3,200円 (学生:1,000円)

※学生席は小学生以上、25歳以下の学生が対象。要学生証。(広響事務局のみ取扱い)

■ チケット発売日 / 一般プレイガイド 2019年8月4日(日)、広響事務局 2019年8月5日(月)

■ チケット取扱い / JMSアステールプラザ情報交流ラウンジ、エディオン広島本店、福屋八丁堀本店、福屋広島駅前店、アルパーク天満屋、広島アーツ楽器、ヤマハミュージック広島店管弦打楽器売場、ローソンチケット(Lコード:62677)、チケットぴあ(Pコード:142-514)、中国新聞社読者広報部、中国新聞販売所(取り寄せ)、広響事務局

主催 / 公益社団法人広島交響楽協会、中国新聞社 共催 / 公益財団法人広島市文化財団

協賛 / 中国電力、広島銀行、広島電鉄、マツダ 後援 / 広島市、広島市教育委員会



文化庁文化芸術振興費補助金  
(舞台芸術創造活動活性化事業)  
独立行政法人日本芸術文化振興会



公益財団法人アフィニス文化財団

※やむを得ぬ事情により、出演者・曲目等を変更する場合がございます。

※就学前のお子様のご入場はご遠慮ください。 ※開演時間に遅られた場合、入場に制限がございます。

お問い合わせ / 広響事務局 TEL : 082-532-3080 E-mail : info@hirokyo.or.jp http://hirokyo.or.jp/



指揮: 下野 竜也

Conductor: Tatsuya Shimono



ピアノ: 児玉 桃

Piano: Momo Kodama



HIROSHIMA SYMPHONY ORCHESTRA

～音楽が紡ぐ“縁”～

# 広島交響楽団 ディスカバリー・シリーズ

Hiroshima Symphony Orchestra Discovery Series

## ベートーヴェン生誕250周年交響曲シリーズ Hosokawa×Beethoven 2

指揮：下野 竜也 *Conductor : Tatsuya Shimono*

広島交響楽団音楽総監督（2017年4月就任）

1969年鹿児島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール〈指揮〉優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年ブザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴びる。

国内の主要オーケストラに定期的に招かれる一方、サンタ・チェチリア国立アカデミー管、チェコ・フィル、シュトゥットガルト放送響、ロワール管、南西ドイツフィル、シリコンバレー響をはじめとした国際舞台での活躍が目覚ましい。

2006年に読売日本交響楽団初代正指揮者に迎えられ、2013年4月から2017年3月まで同団の首席客演指揮者を務める。その間、2011年には広島ウインドオーケストラ音楽監督、2014年4月には京都市交響楽団常任客演指揮者に就任。2017年4月より同団常任首席客演指揮者に就任。

2002年出光音楽賞、渡邊暁雄音楽基金音楽賞、2006年第17回新日録音楽賞・フレッシュアーティスト賞、2007年第6回齋藤秀雄メモリアル基金賞、平成24年度（第63回）芸術選奨文部科学大臣賞、2014年度第44回東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、2016年南日本文化賞・特別賞などを受賞。

鹿児島市ふるさと大使。おじゃんせ霧島大使。

京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻教授。

公式ホームページ <http://www.tatsuyashimono.com/>



ピアノ：児玉 桃 *Piano : Momo Kodama*

J.S.バッハからメシアンを含む現代作品まで、幅広いレパートリーと豊かな表現力で活躍を続ける国際派。幼少の頃よりヨーロッパで育ち、パリ国立高等音楽院に学ぶ。1991年、ミュンヘン国際コンクールに最年少で最高位に輝く。

その後、ケント・ナガノ指揮ベルリン・フィル、小澤征爾指揮ボストン響、モントリオール響、ベルリン・ドイツ響、北ドイツ放送交響楽団との共演、デュトワ指揮NHK交響楽団とのアジアツアーのソリストを務めるなど着実に世界的なキャリアを築く。

2013年にはルツェルン音楽祭、ウィグモアホール、東京オペラシティ文化財団の共同委嘱による「細川俊夫：練習曲集」をルツェルン音楽祭にて世界初演、12月には東京オペラシティにて日本初演、翌年ロンドン・ウィグモアホールでも演奏。

最近の活動としては、ウィーン・ムジークフェラインへのデビュー（メルクル指揮ウィーン・トーンキュンストラー管）、ノリントン指揮フランス放送フィル、フォスター指揮パリ室内管弦楽団との共演をはじめ、室内楽では、ベルリン・コンツェルトハウスでの室内楽など、ヨーロッパでも活躍の幅を広げている。CD録音も活発に行い、オクタビア・レコード、ECMより数多くリリースしている。

2009年中島健蔵音楽賞および、芸術選奨文部科学大臣新人賞を受賞。パリ在住。



©Marco Borggreve



下野竜也&広響による「ディスカバリー・シリーズ」はこれまでも綿密さと大胆さを併せ持つ凝った内容が興味深かったが、2019年度からの新企画でも、ベートーヴェンの交響曲・序曲と細川俊夫の作品を組み合わせるといった意外性のある発想がいかにも下野らしい。広島出身の国際的作曲家である細川の作品がシリーズで聴けるまたとない機会である、またそれと対比されるベートーヴェン作品に下野がどう斬り込んでいくのか、おおいに注目されよう。（アフィニス文化財団 オーケストラ助成委員 寺西 基之）

次回ディスカバリー・シリーズのご案内

### ベートーヴェン生誕250周年交響曲シリーズ Hosokawa×Beethoven 3

2019.12.5 (木) 18:45開演 (17:45開場) JMSアステールプラザ大ホール

指揮：下野 竜也 トランペット：ラインホルト・フリードリヒ

Program

ベートーヴェン：「レオノーレ」序曲第3番 Op.72b

細川俊夫：トランペット協奏曲「霧のなかで」

ベートーヴェン：交響曲第3番変ホ長調 Op.55「英雄」

チケット発売日／一般プレイガイド 2019年10月5日(土) 広響事務局 2019年10月7日(月)